

防災協だより (130号)

【発行所】(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会
 横浜市中区北仲通4-40 (商工中金横浜ビル3階) 電話045-212-1454
 【編集責任者】企画部会長 山田 信之
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

2019年度事業中間報告

1 2019年度 行政・警察・消防・防災事業所連絡会議

例年、各地域における防災事業所と関係機関との連携強化及び情報の共有化を目的に当該会議を行っており、今年度も下記6地域での会議が終了しました。

地区名	開催日	会場名		出席者数				
				防災事業所	行政(県・政令市)	警察	消防	合計
川崎	6月12日(水)	かわさき保育会館	第5会議室	8	3	9	1	21
横三	6月18日(火)	横須賀市文化会館	第1会議室	7	2	9	13	31
湘南	6月21日(金)	平塚市商工会議所	第1・第2会議室	7	1	7	7	22
県西	6月25日(火)	小田原市民交流センター	会議室1	10	1	5	6	22
横浜	7月4日(木)	波止場会館	5F多目的ホール	16	5	21	17	59
県央	7月10日(水)	サンエールさがみはら	第1研修室	13	3	11	14	41
合計				61(54)	15(17)	62(60)	58(53)	196(184)

()内数字は昨年度実績

昨年度から従来の報告中心の会議に事故・災害想定の上訓練(シミュレーション)を新たに取り入れ、意見交換の場を増やすことで万が一事故が起こった時に、相互理解に基づく迅速な対応ができるよう継続的に取り組んでいます。

今年度は過去の事故事例(高速道路上での容器散乱、火災事故)が各地区の高速道路上で起きたと想定し、主に防災事業所が応援に駆け付ける時点での課題や懸念について意見交換を実施しました。各機関の動き、仕組みを確認したことで、これまで以上にお互いの距離感が近くなったとともに、より現実に即した課題の抽出ができたと感じました。

また、会議の席上で出された疑問、課題の一例として応援要請を受けた防災事業所が出動前に状況を把握するために、現場の映像など可能な限り迅速に確認できるシステム(例えばインターネットや専用のシステム回線を通して関係者に配信する等)が構築できないかとの要望も防災事業所より出されました。現状では種々の制約から簡単には実現できない状況ですが、2次災害拡大の防止など防災活動事業の主目的にも関わる事案であり継続的な検討が必要と言えます。

来年度も今年度の結果を踏まえて種々の取組を織り込んで連絡会議を実施していきます。



横浜地区の連絡会議風景

2 2019年度 高圧ガス運送基準指導及び運送指導員資格取得更新講習会

例年通り高圧ガス運送時における事故の未然防止に向けた事業として、各種講習会に取り組んでいます。とりわけ、「高圧ガス運送基準指導」は協会が定める運送基準を基に構成されており、県内7会場において開催しており、現在までに4会場で講習が終了しました。(注：実績集計は3会場分)

昨年度から運送員講習、運送指導員講習とも「行政からのお知らせ」の時間割を設け、これまでの3制限から4制限に変更し、また、運送指導員講習についてはこれまで新規受講者のみ終了審査を実施していましたが、受講者全員への終了審査実施を義務付けました。これらは、前述の高圧ガス関係権限の一部移譲や高圧ガス運送基準の協会基準化に伴うものであり、特に運送指導員の選任権限を事業者が付与したことから、協会としては運送指導員の皆さんに重要情報を確実に把握してもらうために実施しているものです。



川崎会場



横須賀会場



小田原会場

地区名	開催日	会場名	講習種類	受講者数(人)			
				更新受講	新規受講	合計	前年度
川崎	7月17日(水)	かわさき保育会館	運送員	—	—	177	181
横三	7月25日(木)	横須賀市民文化会館	運送員	—	—	103	149
			指導員	109	40	149	146
県西	8月7日(水)	小田原市生涯学習センター	運送員	—	—	202	227
県央	9月11日(水)	相模原南市民ホール	運送員	—	—	—	273
			指導員	—	—	—	261
横浜	10月8日(火)	神奈川県公会堂	運送員	—	—	—	314
			指導員	—	—	—	345
湘南	11月8日(金)	藤沢市民会館	運送員	—	—	—	281
			指導員	—	—	—	279
横浜	12月4日(水)	鶴見公会堂	運送員	—	—	—	290
			指導員	—	—	—	207

運送員・運送指導員証に関する注意喚起

初めて運送員講習会に受講される場合に持参する運送員証に必要事項が未記入で提出する受講者が続発しています。

持参させる運送員証に、「受講者の顔写真・氏名・生年月日・事業所名」等、必須事項が記載済みかどうかを事業者に於いて、必ず確認をお願い致します。

※特に顔写真が貼られていないケースが多く、受講者本人が講習会へ来たことを確認するためのものでもあるため、特に注意喚起をお願い致します。

注意1(高圧ガスの運送途上は必ず携帯すること。)

- 2(運送員証には必ず運転者本人の顔写真を貼ること)
- 3(運送員証には必ず指導員の番号、氏名を記載すること)
- 4(運送員証には必ず事業社名を記入すること)

高圧ガス運送指導員証・講習会受講証

No. _____

氏名 _____

生年月日 昭和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

本証は、神奈川県高圧ガス防災協議会運送基準第3章第2項に基づき交付する。

年 ____ 月 ____ 日発行

公益社団法人 神奈川県高圧ガス防災協議会

高圧ガス運送員証・講習会受講証

No. _____

本証は、神奈川県高圧ガス防災協議会運送基準第6章第1項第2号に基づき交付する。

氏名 _____

生年月日 昭和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

事業所名 _____

指導員 証番号 _____

氏名 _____

2019年度(第34回)関東高圧ガス保安大会の開催

7月26日(金)、東京ガーデンパレス(東京都文京区湯島)において2019年度(第34回)関東高圧ガス保安大会が開催されました。

大会では関東東北産業保安監督部長表彰、関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰式が執り行われました。

当教会関連では当協会推薦で東京ガスLPGターミナル(株)根岸出荷センターが優良防災事業所として、また神奈川県推薦で布施重男会長、河西哲男理事が保安功労者としてそれぞれ、関東東北産業保安監督部長表彰を受賞されました。



令和元年度 関東東北産業保安監督部長表彰

2019年度(第47回)神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

これまで県内6地域の持ち回りで当該訓練を実施してきましたが、昨年度から行政4区分(神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市)の持ち回りに変更となりました。

今年度は相模原市の所管で相模原市淵野辺公園(最寄り駅:JR淵野辺)での訓練実施となり、以下の要領で実施されます。

訓練開催日時:2019年10月3日(木)

13時~16時

訓練会場:淵野辺公園隣接地多目的広場
(相模原市中央区弥栄3)

訓練概要:高圧ガス燃焼特性、
基本措置訓練、取扱形態別訓練等

主催:神奈川県、相模原市消防局、県内5保安団体

関係機関:神奈川県警察本部、相模原警察署



淵野辺公園バス停から 徒歩5分

バス停から徒歩のルート

第14回神奈川県高圧ガス火薬類保安大会の開催

開催日時:2019年10月30日(火) 14時~17時

開催場所:神奈川県立県民ホール 小ホール

記念講演:『危険物事故における現場対応』

~高圧ガス火災の教訓...二つの安全~

一般財団法人海上災害防止センター 萩原 貴浩 氏

※参加を希望される方は別紙参加票で事務局までお申込みください。

会員事業所紹介

株式会社フタミ

当社は昭和23年11月に厚木市に一般工業ガスの販売を目的とした個人商店として創業したことに始まり、昭和32年8月に㈱二見酸素商会として法人化し、同時に二見文男が代表取締役役に就任しました。商売を始めた頃の取引先は自動車修理工場、鉄工所、建設業などが主体でしたが、高度経済成長期に入ると京浜工業地帯などから県央地域に各種製造業が移転してくると同時に新たに創業する企業も増えてきました。今では各種製造業、研究所、病院など多種多様な取引先を持つようになりました。平成5年8月には㈱フタミと社名を変更し、平成18年6月に現在地の厚木市船子に移転し、一般高圧ガスの販売を主体としながら機械工具、溶接材料、化学品の販売はもとより取引先の要望に応えられるよう取扱商品を広げるようにしております。社是とし堅実、積極を掲げ、徹底した保安管理と小回りの利くサービスをモットーに取引先はもとより、地域社会にも貢献する企業を目指して社員一同日々努力しております。

防災協には設立時から加盟しており、準防災事業所としても長年の間活動してまいりました。当社は会社の規模は小さく、社員も多くはありませんが、今までも緊急な出動要請にも対応してまいりました。また、

一般高圧ガス火災時に地元消防当局から助言を求められることも多々あり、その都度協力をしてきました。今後も地元に着目した会社経営を心掛け、自社の保安管理を徹底するとともに、地域の防災保安活動に貢献できるよう頑張ってまいりたいと存じます。(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会並びに会員の皆さまにはさらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます



レモンガス株式会社

弊社は1942年創業以来、神奈川・東京・埼玉・静岡を中心に「クリーン」「安全」「災害に強い」エネルギーであるLPガスをお届けしてきたレモンガス。快適な環境といつも安心が隣にいる暮らしを提供するため、地球環境問題に積極的に取り組み、CO2と光熱費の削減を高める再生可能エネルギーの太陽光発電とコージェネレーションによるダブル発電の推進。地域の皆様が集う憩いの街、レモンタウンの提供など、人々の暮らしに寄与してまいりました。



また、ネットワークとつなげることで新たな可能性としてレモンガスの特徴はネットワークを利用した制御システムやセキュリティシステムを取り入れていること。そして富士通株式会社・愛知時計電機株式会社様と共同で24時間集中監視システム「ガード365」の開発を行い、累計35万世帯に設置したこのシステムは、現在も多くのお客様を見守っております。

レモンガスは、エネルギーの効率的利用という視点から環境問題に取り組んでいます。

環境負荷の少ない再生可能エネルギーである太陽光発電とCO2排出量が少ないLPガスの燃料電池をはじめとするコージェネレーションを専門的に取り扱う会社としてレモンエコパワーを設立しました。太陽光発電とコージェネレーションによるW発電にコージェネレーションから発生する熱(お湯)を有効活用することで大幅な省エネ効果を実現できます。

環境に配慮した取り組みを実践しとして環境に優しいLPガスを好かったエネルギーシステムの取り組み、地域社会への貢献や社員活動などが認められて「低炭素杯2013」において、企業活動部門「環境大臣賞金賞」受賞しました。

また、レモンガスではLPガスだけではなく太陽光発電・燃料電池の施行・販売や宅配水、住宅機器ならびに生活環境機器の販売など幅広く事業展開しています。

快適ライフの1つとして、宅配水にも力を入れています。1000万分の1mmという極小浄化孔フィルターを通した安全な高度純水。そこに4種類のミネラル成分をバランスよく配合した天然のミネラルウォーターや浄水器の水とは異なる発想で生まれた「安心」「安全」「おいしい」水をご家庭やオフィスまでお届けしています。

「エネルギー」「IT」そして「ヘルス」を3つの大きな柱に、私たちレモンガスは時代に即した快適生活を実現してまいりたいと思います。今後とも公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様方には更なるご指導ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

会員事業所紹介

昭和電工ガスプロダクツ株式会社

当社は、戦時中からのドライアイス需要に応えるべく1944年(昭和19年)に「昭和炭酸(株)」として設立し、創立以来、液化炭酸ガス・ドライアイスを中心に営業活動を行って参りました。2012年(平成24年)に、親会社の昭和電工(株)から酸素・窒素・アルゴン・水素等の産業ガス事業を承継し、商号を「昭和炭酸(株)」から「昭和電工ガスプロダクツ(株)」に変更、製販一貫体制を確立し総合的にお客様へサービスを提供できる環境を整えました。

当川崎工場の成り立ちは、昭和電工(株)川崎事業所のアンモニア製造における副生ガスを使用するコンビナート式生産を目的に、1956年(昭和31年)に建設・完成、現在の扇町での事業を開始致しました。

川崎工場の生産品目は、弊社の主力製品である液化炭酸ガス・ドライアイスを生産しており、用途は液化炭酸ガスでは、炭酸飲料等の食品添加物や医療用・冷媒用、溶接のシールドガス等にご利用頂いており、タンクローリーにてお客様にお届けしております。ドライアイスで



は、主に食品等の冷却材としてコールドチェーンにご活用頂き、又、近年ではドライアイスプラスト洗浄のメディア(玉)に使用するドライアイスプラスト等も二次汚染物質の発生が少ないとしてご評価・ご利用頂いております。

工場の運転は24時間3交替勤務で運営し、原料炭酸ガスも2ソース供給頂き365日運転可能な工場であり、液化炭酸ガス製造の単一工場としては国内最大級の工場となります。また特色としては、原料からドライアイスまでを昭和電工グループ体で生産する体制であり、その原料は昭和電工(株)が運営する日本で唯一の「プラスチック・ケミカルリサイクル」を原料とするアンモニアプラントからの副生ガスが主であり、資源循環型社会の形成に貢献し、地球環境に配慮した製品づくりを行っております。

保安防災面としては、高圧ガスの第一種製造者として工場の安全・安定操業の責務を果たすべく日々の安全管理・設備保全に加え、事業所全体の設備・業務に関して、4Mの視点を盛り込んだリスクアセスメントを継続的に行っております。この活動により設備及び業務の安全性が向上すると共に、従業員全体の安全に対する感度も向上しております。また、近年は世間一般的に、世代交代による技術伝承不足や人手不足、設備の自動化・業務の多様化により、設備プロセスの全体像や過去の経緯等の把握が不十分になる可能性が懸念されます、故に私共は教育・マニュアルに関してKnow-Whyの視点を積極的に盛り込んだ教育を心掛け、推進しております。

また、企業全体としてレスポンス・ケア活動をおこなっており、社会的要求への取り組みを更に推進し、地域の発展に努めて参りますので、神奈川県高圧ガス防災協議会の皆様、会員各社様には、今後共々厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社ガスネット

当社は1997年に当時のジャパンエナジー株式会社(現JXTGエネルギー株式会社)と株式会社サイサン、株式会社丸江の合併で設立しました。

約2000坪の敷地に30tタンク2基を備えております。

いわゆる充填配送業務の統合の走りになっていました。

現在は2019年3月末にJXTGエネルギー株式会社から株式会社サイサンと株式会社丸江でガスネットの株式を買い取り、2社の合併会社となっております。また土地建物も買い取り、新しいかたちで運営を行っております。

民生用バルクローリー 3台、3t配送車22台、1t配送車1台で配送員20名、製造2名、保安および事務4名の体制で事業を行っております。

神奈川県西部を中心に、配送しております。

今年是小田原市の小中学校へのGHP設置にともない、ガスネットも11校の配送を請け負うことができました。

毎年神奈川県LPガス協会小田原支部のバラ積検査にご利用いただ

いております。

今後は中核充填所となることを目指し、県西地域で充填配送業務をさらに精進してまいります。



協議会からの “お知らせ” と “お願い”

部会県外研修見学会の開催のご案内

開催日程：2019年10月17日（木）～ 18日（金）（1泊2日）

見学場所：埼玉県高圧ガス・危険物防災訓練（深谷市）他

参加費用：¥15,000/人

※参加を希望される方は事務局までお申込みください。（〆切：9月27日必着）

2019年度高圧ガス移動監視者講習会開催予定

〔指定する高圧ガス（可燃性、酸素、毒性、液化石油、特殊高圧の各ガス）を一定数量以上移動（輸送）するには『高圧ガス移動監視者』の資格が必要となります。〕

講習・検定開催日程	講習・検定会場	定員
〔講習〕 2019年11月13日(水)～14日(木) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 2019年11月29日(金) 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 川崎市川崎区渡田新町3-2-8 「京急八丁畷」駅下車 徒歩15分	80名
〔講習〕 2020年1月22日(水)～23日(木) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 2020年2月7日(金) 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 川崎市川崎区渡田新町3-2-8 「京急八丁畷」駅下車 徒歩15分 (当協会HPにてご確認ください) (12月初めに講習会開催案内掲載予定)	80名

※当協会ホームページに掲載してある「講習開催案内」をダウンロードしてお申込みください。

事務局までお知らせ・ご連絡をお願いします。

社名、住所、組織変更及び人事異動による変更等がありましたら、お手数ですが所定の様式に必要事項をご記入のうえ、防災協議会事務局あてお送りください。

・社名変更 ・組織変更 ・住所変更 ・電話/FAX番号変更 ・協議会ご担当者変更等

【事務局：電話 045-212-1454 FAX 045-212-1455】

E-mail : jim@kanagawa-bousai-hpg.or.jp

URL : <http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

※「所定の様式」は、ホームページからもダウンロードできます。